

山梨大学医学部附属病院 [地域医療連携だより]

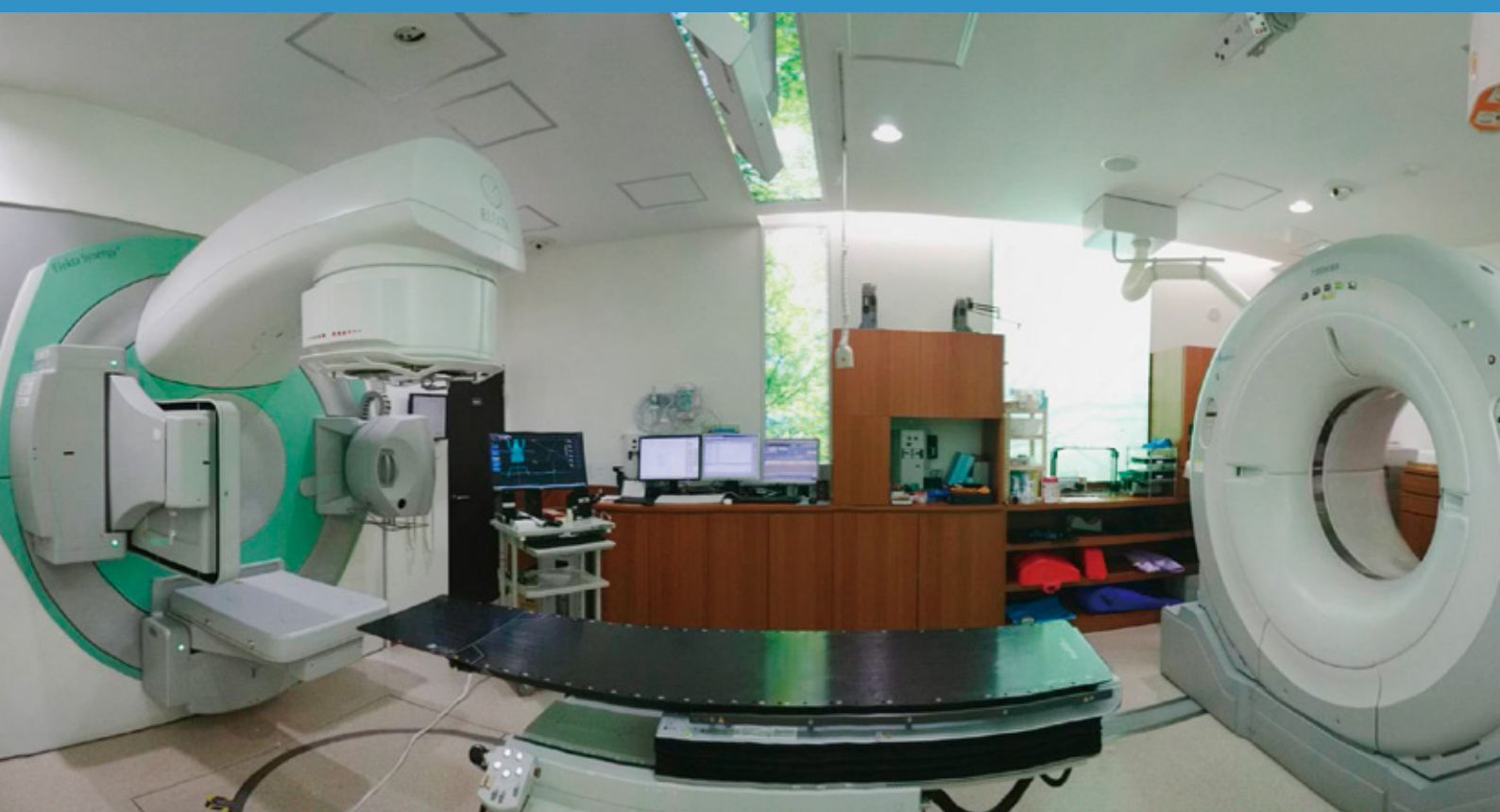
パートナー

2026
vol.30

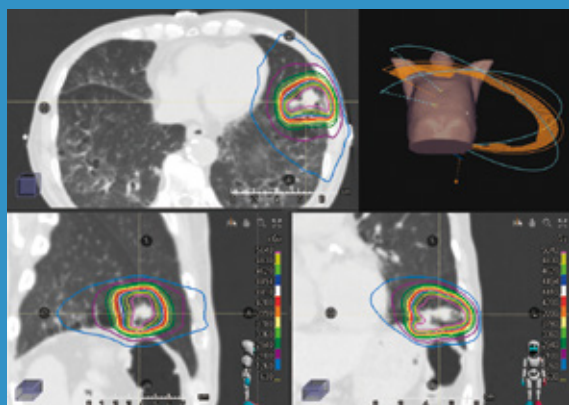
令和8年8月発行

[特集] 診療科・部門のご紹介

放射線治療科／総合診療部／放射線診断科／病床管理センター



放射線治療装置とCTが一体化した装置



肺癌に対するピンポイント照射の線量分布図（設計図）



山梨大学開発の呼吸量表示装置

山梨大学医学部附属病院 診療科・部門のご紹介

放射線 治療科

Radiation Oncology

放射線治療は、手術・薬物療法と並ぶ、がん治療の三本柱の一つです。当科では、多様ながん種を対象に、治癒を目指す根治照射から症状の軽減・予防を目的とした緩和照射まで、幅広く行っています。私たちが目指すのは、単に「放射線を正確に当てること」ではありません。患者さん一人ひとりの生き方に寄り添い、納得のいく選択をともに考える。そんな「高精度」放射線治療を追求しています。

① 患者さんの声を「聴く」

Shared Decision Making(協働意思決定)を重視し、医学的に何ができるかだけでなく、患者さんが何を大切に



し、どのような治療を望んでいるのか、その価値観を共有しながら、ともに「最善の選択肢」を考えます。

② 専門家の力を「つなぐ」

医師、診療放射線技師、医学物理士、看護師が日常的に意見を交わし、全職種参加のカンファレンスで情報や課題を共有しています。専従の医学物理士3名を擁し、放射線診断科や他診療科と密接に連携しています。それぞれの専門性を結集し、治療の質と安全を支えています。

③ 高精度な治療を「届ける」

肺・肝などの体幹部定位放射線治療では豊富な経験を有し、「Abches(アブチェス)」を用いた息止め照射など、高精度治療に取り組んでいます。一方、県内2施設で放射線治療が休止し、需要が増す中、当院でも治療装置の老朽化という課題を抱えています。限られた医療資源の中で知

恵を出し合い、必要な治療を安定して提供できるよう努めています。

患者さんを中心に、各職種が専門性を持ち寄り、ともに最善の治療を考える。それが、私たちの実践する「Patient-guided radiotherapy(患者さん主導の放射線治療)」です。これからも地域の先生方と連携し、山梨の放射線治療を担ってまいります。適応に迷われる場合も、どうぞお気軽にご相談ください。

総合診療部

Department of
General Medicine

総合診療部は、特定の臓器や疾患にとらわれることなく、患者さんの心理的・社会的背景を含めて「まるごと」診る部門です。「体調不良が続いているものの、何科を受診すればよいかわからない」、「多くの持病を抱え総合的な判断が必要である」といった患者さんの窓口として、診療を行っています。丁寧な問診と確かな身体診察を重視し、大学病院の高度な検査機能や各専門診療科との密な連携のもと、症状の根本的な原因解明に努めています。常に患者さんの立場に寄り添い、最新の知見に基づいた温かく質の高い医療の提供を心がけています。

また、当部は、大学病院において地域医療を支える重要な受け皿としての役割を担うとともに、次世代の総合診療医の育成に向けた教育・研究にも力を入れています。

なお、当院は完全紹介制としており、受診には地域の医療機関からの紹介状が必要です。総合的な診療が必要とご判断された患者さんがおられましたら、当部へのご紹介をご検討ください。

今後も地域の皆さまの健やかな生活を、確かな医療で支えてまいります。



総合診療症例勉強会

放射線 診断科

Diagnostic Radiology

放射線診断科は、画像診断部門とIVR部門からなる診療科です。

画像診断部門では、CT、MRI、核医学検査などを用いて全身の疾患を非侵襲的に評価し、画像診

断療法、血管内治療を行い、24時間365日のオンコール体制で緊急症例にも対応しています。2026年3月からは最新のCanon製IVR-CTが稼働し、より安全で精度の高い治療が可能となりました。

今後も地域の医療機関の先生方から信頼される画像診断・IVRの拠点を目指し、社会に貢献できるよう取り組んでまいります。

断専門医が各診療科と連携して診療を支えています。悪性腫瘍の存在診断・病期診断、治療効果判定、再発検索、救急疾患など幅広い領域に対応し、最適な撮像方法の提案、安全な検査の実施、迅速かつ質の高いレポート作成に努めています。レポートは、翌営業日までの作成を基本とし、時間外や休日の緊急画像診断にも対応しています。また、遠隔画像読影システムを活用し、県内の画像診断支援を行うとともに、海外医療機関（ベトナム）とも協力し、医療支援や人材育成に取り組んでいます。

IVR部門では、X線透視、超音波、CTなどの画像を用いた低侵襲治療を実施しています。CTガイド下生検、緊急止血術、腫瘍に対する動



病床管理 センター

Bed Control Unit

病床管理センターは、患者さんが必要な医療を適切なタイミングで受けられるよう、院内の病床を効率的かつ円滑に運用するための中核部門です。病床の空床状況をリアルタイム

に把握し、入院や転棟の調整を行うとともに、診療科や病棟、多職種と密接に連携し、病床の有効活用を推進しています。

当センターは、医師・看護師・医療スタッフで構成し、日々変化する病床状況や患者さんの状態を踏まえ、公平かつ効率的な病床運用に取り組んでいます。予定入院と緊急入院に柔軟に対応し、地域の医療機関からご紹介いただく患者さんについても、可能な限り円滑に受け入れられるよう調整を行っています。また、転院や転棟を含めた入院全体の流れを支援し、診療科や病棟の診療体制や患者さんの治療計画を考慮しながら、適切な病床確保に努めています。こうした取り組みは、平均在院日数の適正化や緊急入院への迅速な対応につながり、病

院全体の医療提供体制を支える重要な役割を果たしています。

当センターでは、患者さんが安心して入院生活を送れるよう、多職種が連携し、円滑で効率的な病床運用に努めています。今後も地域の医療機関の皆さまとのつながりを大切にし、紹介患者さんを円滑に受け入れられる体制の充実を図ることで、地域医療へのさらなる貢献を目指してまいります。



セミナー・講演会等のお知らせ

対象：医療従事者

開催名	主 催	開催日	開催場所	お問合せ先 (内線番号)
第59回 がんセンターセミナー	山梨大学医学部附属病院 がんセンター	2026年10月22日 【申込期限】 2026年10月20日	オンライン	内線 2073

※上記セミナー・講演会へのお問合せは TEL:055-273-1111 (代表) へお掛けのうえ、お問合せ先の内線番号をお伝えください。

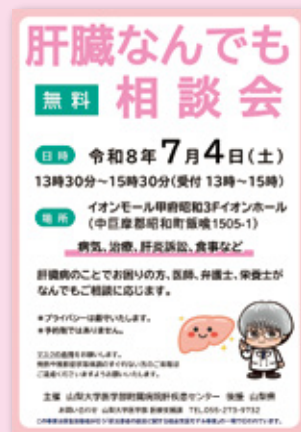
イオンモール甲府昭和で「肝臓なんでも相談会」を開催しました

当院肝疾患センターでは、7月4日(土)、イオンモール甲府昭和のイオンホールにおいて、肝疾患患者さんやそのご家族等を対象とした「肝臓なんでも相談会」を開催しました。

当日は、医師、弁護士、管理栄養士が相談員として参加し、肝疾患の治療のほか、肝炎訴訟や食事療法など、多岐にわたるご相談に対応しました。診療の場では相談しにくい内容についても気軽に相談できる機会として、ご利用いただきました。

本相談会は、2027年1月30日(土)にも開催を予定しています。

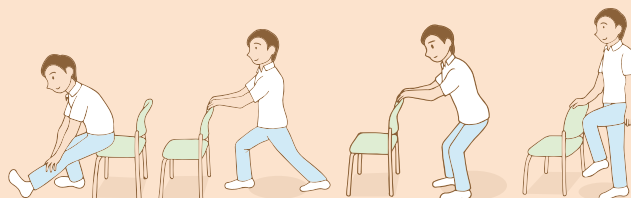
地域の先生方におかれましては、相談をご希望される患者さんやご家族がられましたら、ぜひ本相談会をご紹介いただけますと幸いです。



山梨大学公開講座「すこやかに生きる」を開催します

本学医学部では、山梨医学会との共催により、公開講座「すこやかに生きる」を毎年開催しています。

今年は、美しく元気に長生きするために、移動機能の低下を招く「ロコモ(ロコモティブシンドローム)」と、それに深く関わる骨粗鬆症について、最新の予防法や対策を学びます。また、理学療法士によるロコモ体操の実演も予定しています。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

受講料
無料

【日 時】2026年9月12日(土) 13:30～15:30(受付 13:00～)

【会 場】山梨大学医学部キャンパス 臨床講義棟 大講義室

【対 象】どなたでもご参加いただけます。※参加無料・事前申込制(定員130名)

【演題内容】「美しいエイジングを目指して—これからの骨粗鬆症とロコモ対策—」

「ロコモティブシンドロームの予防体操」

【申込方法】電話、FAX、WEB(右記QRコードからお願いします。)

【申込期間】8月10日(月)～9月11日(金)

【お問い合わせ】山梨大学医学域事務部学務課 公開講座担当

TEL.055-273-9334 FAX:055-273-6742

WEB
申し込みは
こちら⇒

病院の理念

すべての患者さんに「安心」を

基本方針

当院は、高度医療の中核として、患者さんに安全で最適な医療を提供するとともに、人間性豊かな医療人の育成と臨床医学の発展に貢献します。